

6月定例会

予算決算委員会では、6月22日に総務文教

分科会、6月25日に環境福祉分科会、6月26

日に建設産業分科会を開催して、平成24年度

6月補正予算の審査を行いました。その中で行われた質疑応答の一部を紹介します。

総務文教分科会



議員 市の財政事情を考えるとき、補正予算に計上された額は適切であるか。

市 財政事情に配慮することは勿論であるが、前市長の12年間の功績を絵画により顕彰し伝えていきたい。

○幼稚園費について

議員 3歳児の教室には、冷房設備が必要ではないのか。

市 保育現場からの要望を勘案し、他の営繩を優先させたものである。

- 前市長の肖像画購入費42万円について
議員 肖像画については市内在住の画家に発注すべきではないか。
市 肖像画という特殊な分野ではあるが、委員の意見を参考にしながら発注先を決めていきたい。



6

環境福祉分科会



○福祉事業に関する助成の考え方

委員 協働のまちづくりの取り組みも始まっている。まちづくり交付金との兼ね合いはどうか。補助金として多額な金額が出て、一方でまちづくりとして少ない予算でやつていくと格差が出る。

市 補助がいいのか、まちづくり協議会の事業とするとか、地元とよく協議しながら進めていきたい。

委員 地域コミュニティが大切なのはわかるが、事業の経営は最終的に独立採算としたいのか、ずっと補助金を出していくのか。

市 利用者から最低限度の利用料金を徴収し独立採算したいが、福祉施策上必要な事業であって、利用者

数とも多く継続がどうしても必要と判断し、補助金額はかなり減額したが、市の単独事業とした。委託先は子ども劇場笠岡センターである。